

公共施設の課題等の整理（前回検討協議会を受けて再整理）

(1) 分析の視点について

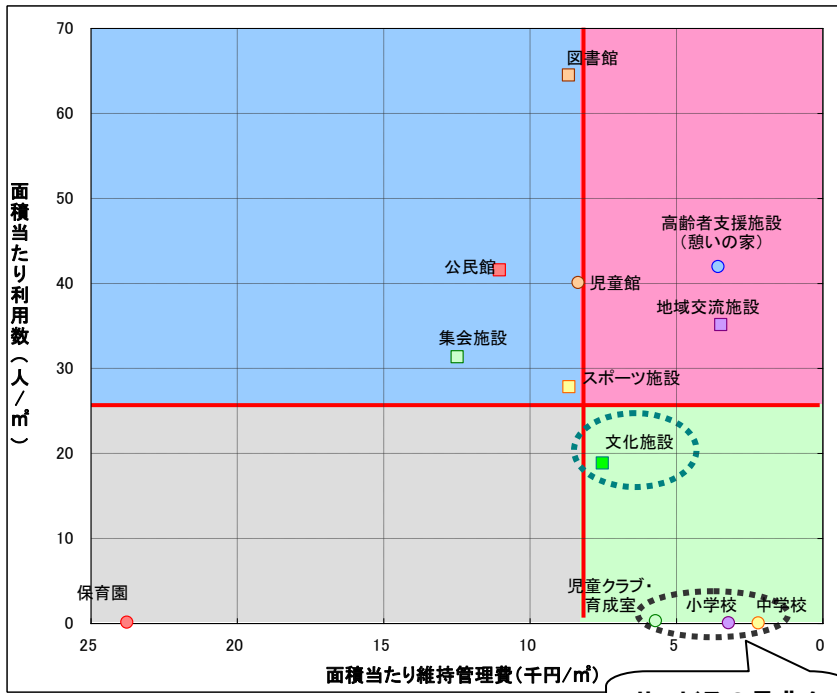
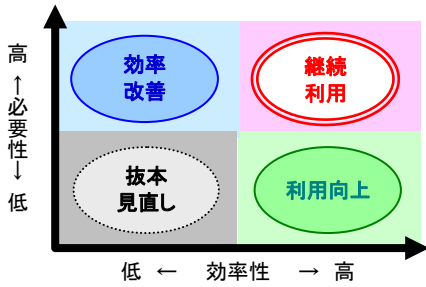
前回協議会でご意見のあった利用に関する指標については、全施設の利用状況を利用人数に統一し、再整理しています。

8,271 : 前回から数値変更(地域交流施設の利用状況を件数(1,207件)⇒人数(8,271人))

分類	延床面積		老朽化 平均 経過年数 (年)	利用		コスト		
	合計 (㎡)	平均 (㎡)		3か年平均 利用数 (人)	面積1㎡当たり 利用数 (人/㎡)	維持管理費 (千円)	面積1㎡当たり 維持管理費 (千円/㎡)	支出 総額 (千円)
公民館	10,842	2,168	27	85,954	41.6	27,381	11.0	59,193
図書館	5,183	1,037	30	68,408	64.5	9,326	8.7	84,581
集会施設	2,629	1,315	10	46,334	31.4	15,815	12.5	40,188
地域交流施設	2,857	286	19	8,271	34.6	511	3.5	5,208
スポーツ施設	11,815	11,815	24	329,104	27.9	102,472	8.7	141,324
文化施設	3,219	1,610	11	23,171	18.9	11,886	7.5	57,579
高齢者支援施設(憩いの家)	1,894	474	29	19,823	42.0	2,373	3.6	15,094
保育園	4,948	707	31	111	0.2	16,577	23.8	189,732
児童館	4,328	866	20	29,971	40.1	8,267	8.4	31,652
児童クラブ・育成室	3,640	146	14	46	0.3	912	5.7	16,171
小学校	99,198	6,613	34	519	0.1	20,905	3.2	80,216
中学校	53,229	7,604	37	511	0.1	16,761	2.2	79,714
平均	16,982	2,887	24	51,019	25.1	19,432	8.2	66,721

(2) 施設分類レベルの分析 (ステップ1)

ア サービスの方向性に関する分析



【維持・拡大】
 他の施設に比べ、面積(ハコ)に対する利用は高く、維持管理費も小さいため、サービスを積極的に維持、あるいは拡大していくべき施設である。
<該当>
 地域交流施設、憩いの家

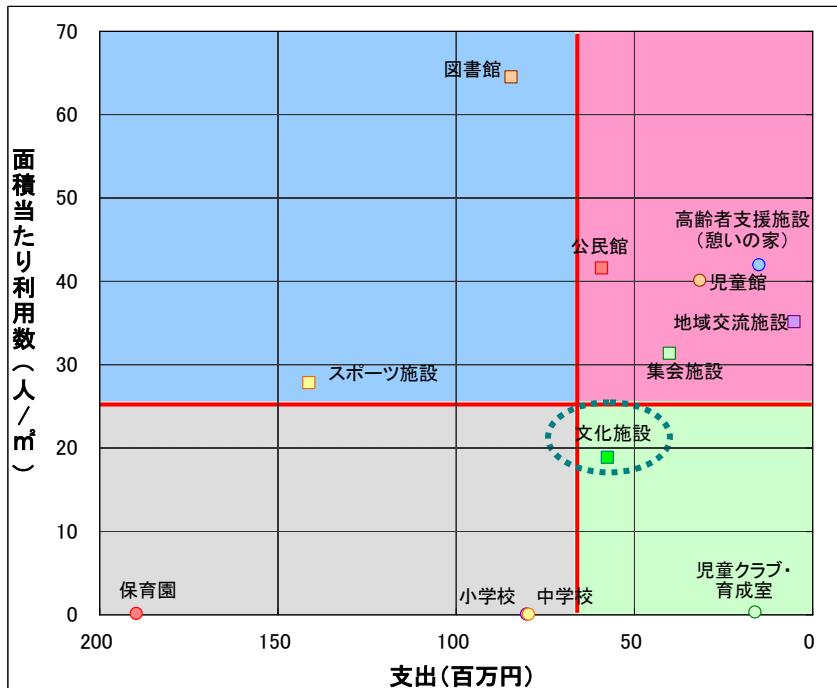
【効率改善】
 利用率は高いが、コスト効率が低いため、施設の効率的な管理運営が求められる。
<該当>
 公民館、図書館、集会施設、スポーツ施設、児童館

【利用向上・あり方見直し】
 他の施設に比べ、面積(ハコ)に対する利用が低いため、利用向上のための施策や、サービスのあり方の見直しを検討する候補となり得る。
<該当>
 文化施設
 (小学校、中学校、児童クラブ・育成室)
 ※学校教育施設は法的に義務付けられており、サービス継続の是非を問う施設ではない。

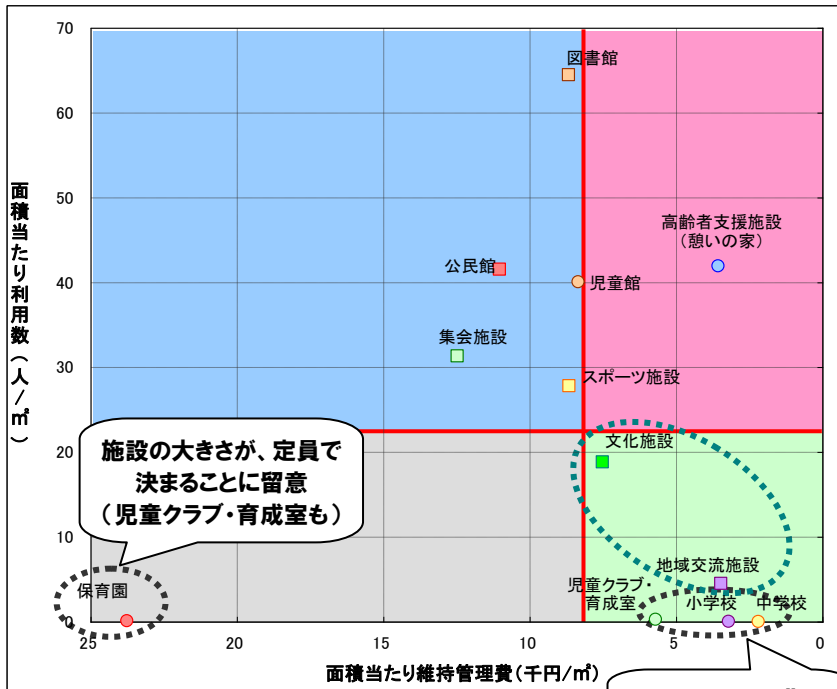
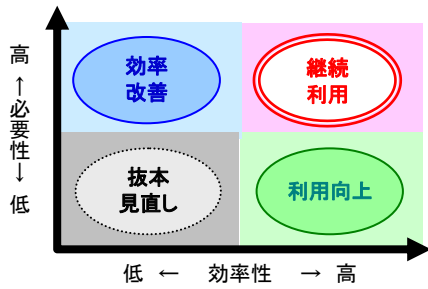
【抜本見直し】
 利用率が低くコスト効率も低いため、サービス継続の是非を検討する余地がある。
<該当>
 (保育園)

サービスの是非を問う施設ではない

支出総額で見ると...



(参考) 前回検討協議会の分析

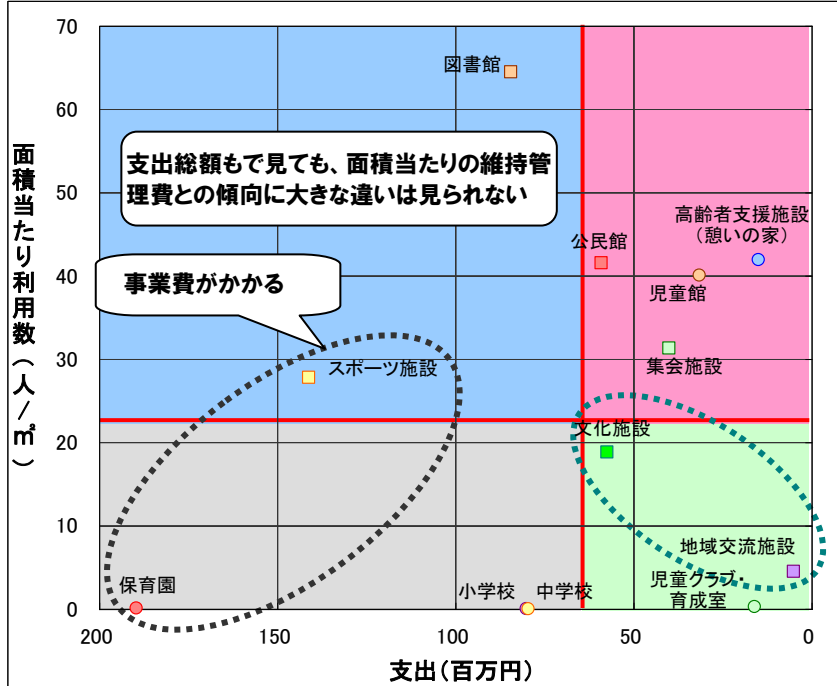


【維持・拡大】
 他の施設に比べ、面積(ハコ)に対する利用は高く、維持管理費も小さいため、サービスを積極的に維持、あるいは拡大していくべき施設である。
<該当>
 憩いの家、図書館、集会施設、公民館、児童館

【効率改善】
 利用率は高いが、コスト効率が低いため、施設の効率的な管理運営が求められる。
<該当>
 スポーツ施設

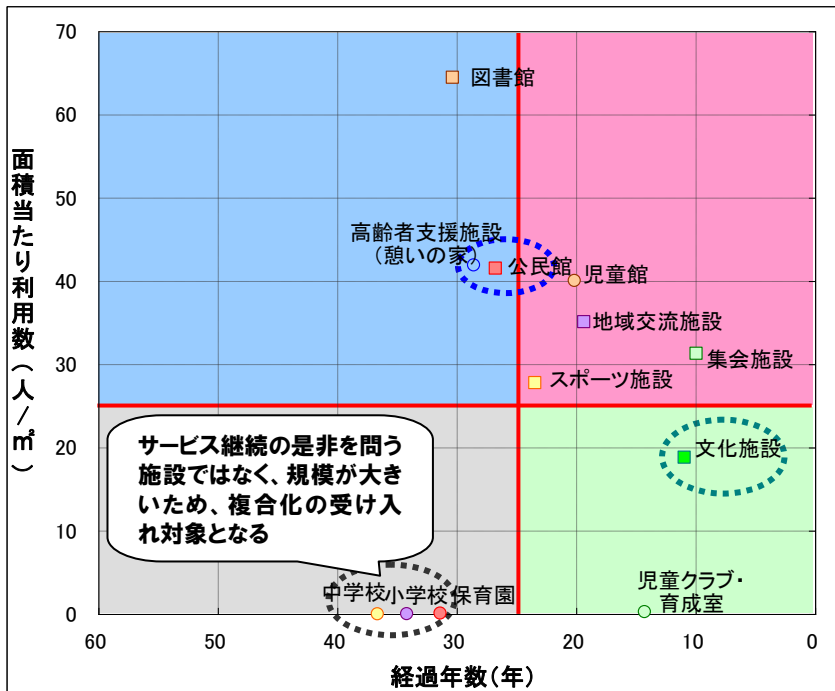
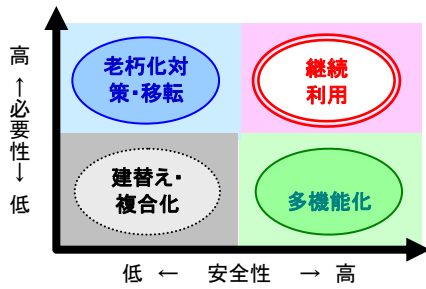
【利用向上・あり方見直し】
 他の施設に比べ、面積(ハコ)に対する利用が低いため、利用向上のための施策や、サービスのあり方の見直しを検討する候補となり得る。
<該当>
 文化施設、地域交流施設 (小学校、中学校、児童クラブ・育成室)
 ※学校教育施設は法的に義務付けられており、サービス継続の是非を問う施設ではない。

支出総額で見ると… サービスの是非を問う施設ではない



【抜本見直し】
 利用率が低くコスト効率も低いため、サービス継続の是非を検討する余地がある。
<該当>
 (保育園)

イ 建物の方向性に関する分析



【継続利用】

他の施設に比べ、建物の安全性が確保されており、利用率も高いため、長期保全対象となる。

<該当>

集会施設、地域交流施設、スポーツ施設、児童館

【老朽化対策・移転】

建物の老朽化が懸念される。利用率は高いため、サービスは継続し、建替えの検討や移転の可能性を検討する余地がある。

<該当>

公民館、図書館、憩いの家

【多機能化】

他の施設に比べ、建物の安全性が確保されているが、利用率が低いため、多機能化や複合施設としての受け入れの余地がある。なお建物は長期保全対象。

<該当>

文化施設、児童クラブ・育成室

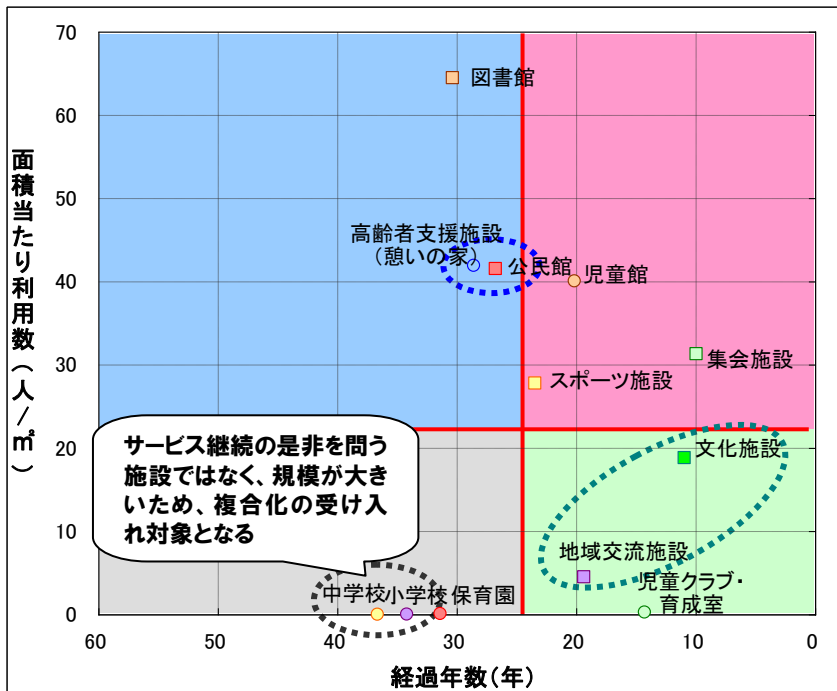
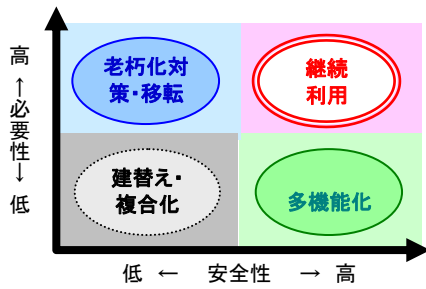
【建替え・複合化】

建物の老朽化が懸念され、面積に対する利用率も低い。本市の場合、このカテゴリーに分類される施設がサービス継続の是非を問う施設ではないため、複合化や統合化の受け入れ対象となる。

<該当>

小学校、中学校、保育園

(参考) 前回検討協議会での分析



【継続利用】
 他の施設に比べ、建物の安全性が確保されており、利用率も高いため、長期保全対象となる。
<該当>
 集会施設、スポーツ施設、児童館

【老朽化対策・移転】
 建物の老朽化が懸念される。利用率は高いため、サービスは継続し、建替えの検討や移転の可能性を検討する余地がある。
<該当>
 公民館、図書館、憩いの家

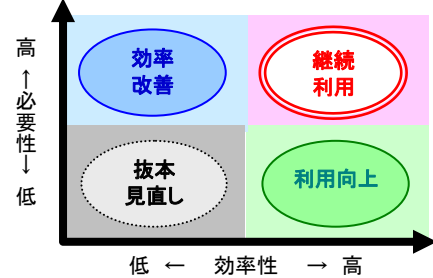
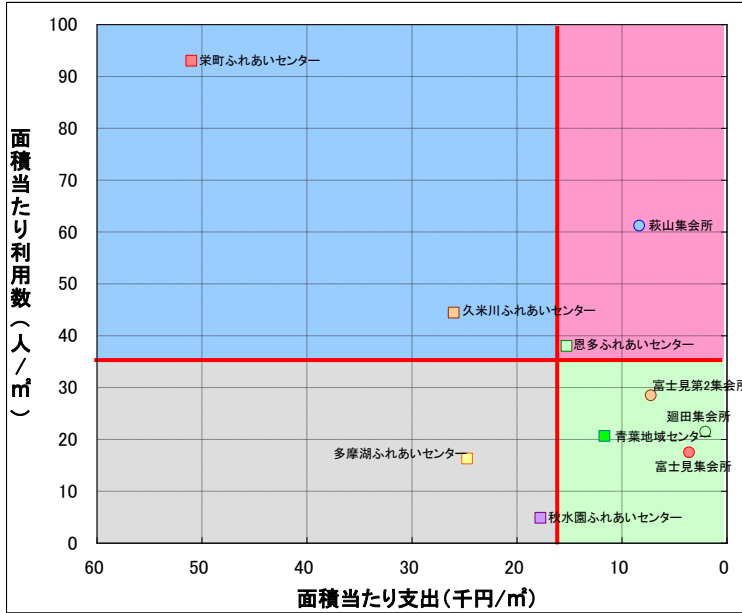
【多機能化】
 他の施設に比べ、建物の安全性が確保されているが、利用率が低いため、多機能化や複合施設としての受け入れの余地がある。なお建物は長期保全対象。
<該当>
 地域交流施設、文化施設、児童クラブ・育成室

【建替え・複合化】
 建物の老朽化が懸念され、面積に対する利用率も低い。本市の場合は、このカテゴリーに分類される施設がサービス継続の是非を問う施設ではないため、複合化や統合化の受け入れ対象となる。
<該当>
 小学校、中学校、保育園

(3) 地域交流施設の分析 (ステップ2) ※利用人数で再整理

■サービスの方向性 (支出—利用者数、稼働率)

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| (前回) | (今回) |
| ・縦軸が年間利用件数/㎡ | ・縦軸を年間利用人数/㎡ |
| ・横軸が維持管理費/㎡ | ・横軸を支出/㎡(維持管理費を指定管理料で負担している施設があるため) |

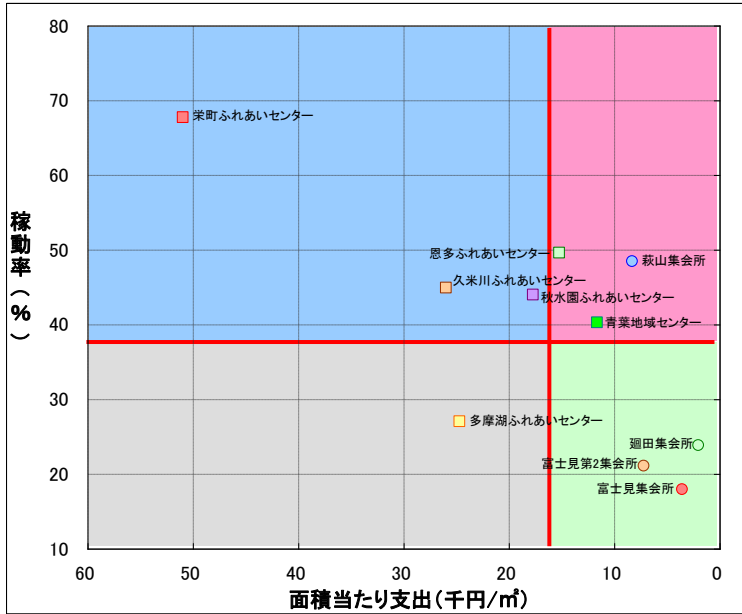


【継続利用】
他の施設に比べ、コストパフォーマンスが高く、利用率も高いため、現状のサービスを継続していく施設対象となる。

【効率改善】
利用率は高いが、他施設に比べコスト高となっているため、コスト削減に向けて、維持管理や事業運営の効率化を図る余地がある。

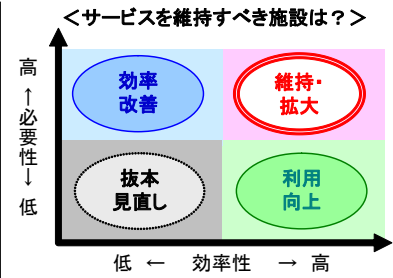
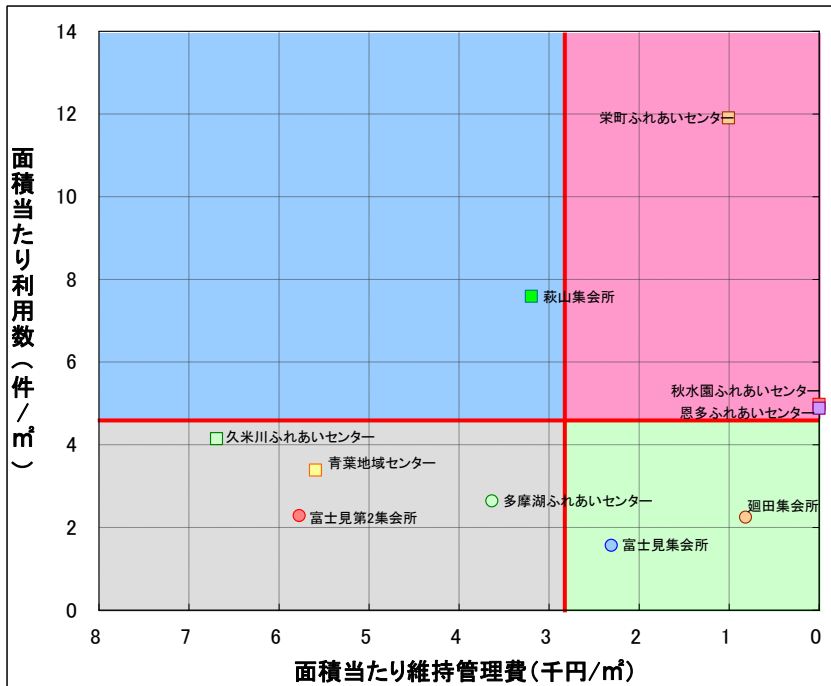
【利用向上】
他の施設に比べ、コストは低く抑えられているが、利用率が低いいため、施設機能の見直しや多機能化の可能性も含め、施設の有効活用に向けて、利用向上策を検討すべき施設である。

【抜本見直し】
高コストであり、利用率も低い。施設が提供するサービスのあり方について、抜本的な見直しを要検討である。



施設名	延床面積 (㎡)	老朽化		利用			コスト		
		平均経過年数 (年)	3年平均利用数 (人)	3年平均稼働率 (%)	面積1㎡当たり利用数 (人/㎡)	維持管理費 (千円)	支出 (千円)	面積1㎡当たり支出 (千円/㎡)	
栄町ふれあいセンター	157	12	14,605	67.8	93.0	158	8,008	51.0	
久米川ふれあいセンター	398	11	17,694	45.0	44.5	2,664	10,356	26.0	
恩多ふれあいセンター	555	13	21,098	49.7	38.0	0	8,474	15.3	
秋水園ふれあいセンター	493	11	2,408	44.1	4.9	0	8,757	17.8	
多摩湖ふれあいセンター	471	14	7,685	27.1	16.3	0	11,652	24.7	
青葉地域センター	180	3	3,718	40.3	20.7	1,007	2,101	11.7	
萩山集会所	56	38	3,429	48.5	61.2	179	468	8.4	
富士見集会所	201	38	3,516	18.0	17.5	464	724	3.6	
富士見第2集会所	160	34	4,560	21.2	28.5	898	1,160	7.3	
廻田集会所	186	20	3,997	23.9	21.5	136	384	2.1	
平均	286	19	8,271	38.6	34.6	551	5,208	16.8	

(参考) 前回検討協議会での分析

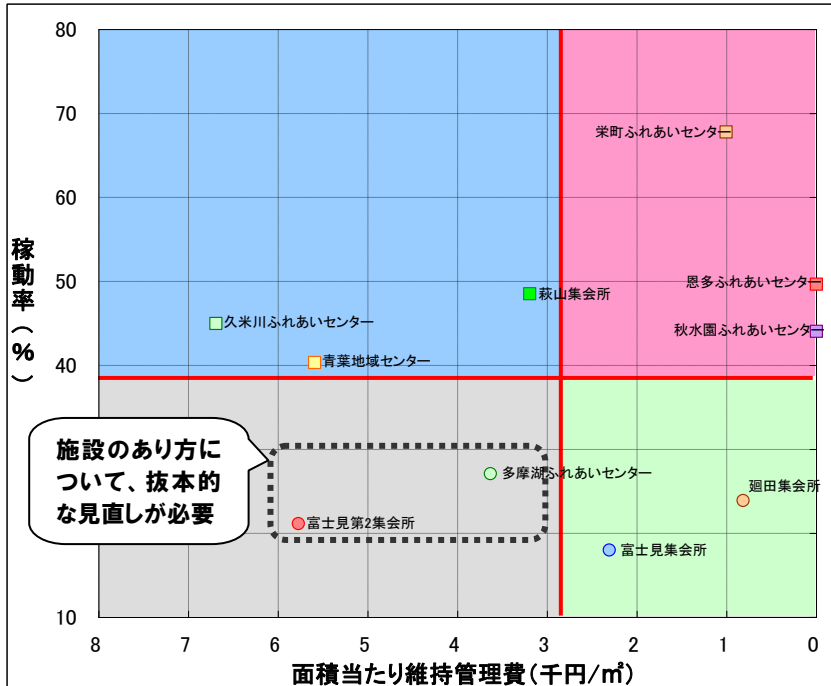


【継続利用】
他の施設に比べ、コストパフォーマンスが高く、利用率も高いため、現状のサービスを継続していく施設対象となる。

【効率改善】
利用率は高いが、他施設に比べコスト高となっているため、コスト削減に向けて、維持管理や事業運営の効率化を図る余地がある。

【利用向上】
他の施設に比べ、コストは低く抑えられているが、利用率が低いいため、施設機能の見直しや多機能化の可能性も含め、施設の有効活用に向けて、利用向上策を検討すべき施設である。

【抜本見直し】
高コストであり、利用率も低い。施設が提供するサービスのあり方について、抜本的な見直しが要検討である。

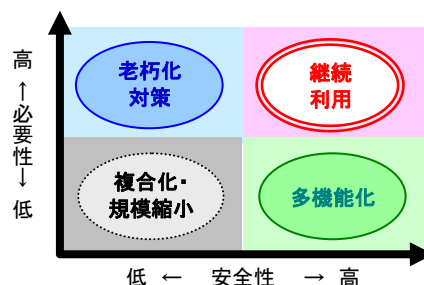
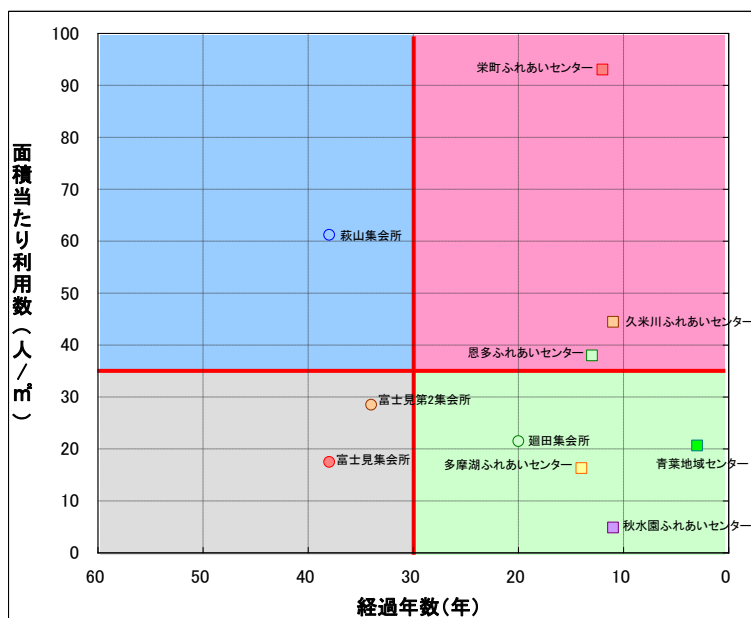


中分類	施設専有面積 (m²)	老朽化		利用			コスト			
		平均経過年数 (年)	3か年平均利用数 (件)	3か年平均稼働率 (%)	面積1㎡当たり利用数 (件/m²)	施設使用料 (千円)	維持管理費 (千円)	面積1㎡当たり維持管理費 (千円/m²)	支出 (千円)	
思多ふれあいセンター	555	13	2,763	49.7	5.0	0	0	0.0	8,474	
栄町ふれあいセンター	157	12	1,869	67.8	11.9	0	158	1.0	8,008	
久米川ふれあいセンター	398	11	1,650	45.0	4.1	0	2,664	6.7	10,356	
秋水園ふれあいセンター	493	11	2,408	44.1	4.9	0	0	0.0	8,757	
青葉地域センター	180	3	610	40.3	3.4	285	1,007	5.6	2,101	
萩山集会所	56	38	425	48.5	7.6	149	179	3.2	468	
富士見集会所	201	38	315	18.0	1.6	264	464	2.3	724	
富士見第2集会所	160	34	366	21.2	2.3	317	924	5.8	1,186	
廻田集会所	186	20	418	23.9	2.2	212	152	0.8	400	
多摩湖ふれあいセンター	471	14	1,245	27.1	2.6	0	1,712	3.6	13,364	
平均	286	19	1,207	38.6	4.6	123	726	2.9	5,384	

■建物の方向性（経過年数—利用者数、稼働率）

（前回）
・縦軸が年間利用件数/m²

（今回）
・縦軸を年間利用人数/m²



【継続利用】

他の施設に比べ、建物の安全性が確保されており、利用率も高いため、長期保全対象となる。

【老朽化対策】

利用率は高いが老朽化が懸念されるため、大規模修繕や建替え等の対策を要検討。

【複合化・規模縮小】

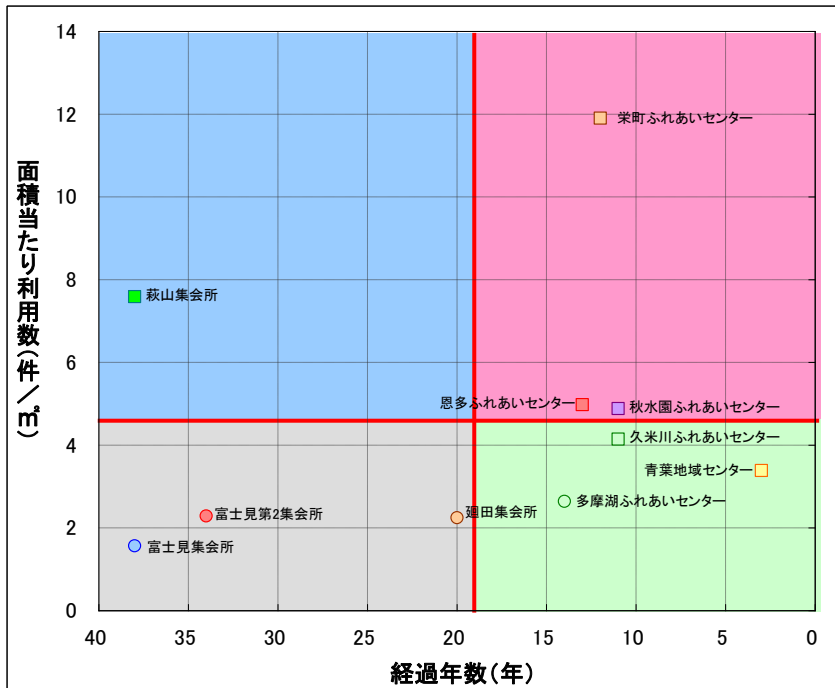
建物の老朽化が懸念され、面積に対する利用率も低い。近隣他施設への移転が困難な場合は、大規模修繕や建替えに合わせ複合化や規模縮小の検討することが求められる。

【多機能化】

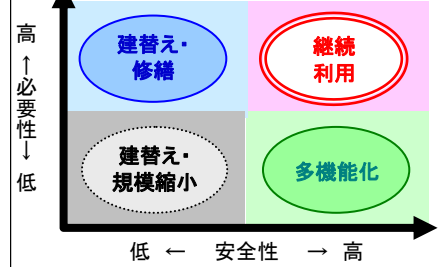
他の施設に比べ、建物の安全性は確保されているが、利用率が低いため、多機能化や複合施設としての受け入れの余地がある(条件が合えば、社会実験等による短期計画のモデル事業となり得る)。なお、建物は長期保全対象。

施設名	延床面積 (m ²)	老朽化		利用		コスト		
		平均経過年数 (年)	3か年平均利用数 (人)	3か年平均稼働率 (%)	面積1m ² 当たり利用数 (人/m ²)	維持管理費 (千円)	支出 (千円)	面積1m ² 当たり支出 (千円/m ²)
栄町ふれあいセンター	157	12	14,605	67.8	93.0	158	8,008	51.0
久米川ふれあいセンター	398	11	17,694	45.0	44.5	2,664	10,356	26.0
恩多ふれあいセンター	555	13	21,098	49.7	38.0	0	8,474	15.3
秋水園ふれあいセンター	493	11	2,408	44.1	4.9	0	8,757	17.8
多摩湖ふれあいセンター	471	14	7,685	27.1	16.3	0	11,652	24.7
青葉地域センター	180	3	3,718	40.3	20.7	1,007	2,101	11.7
萩山集会所	56	38	3,429	48.5	61.2	179	468	8.4
富士見集会所	201	38	3,516	18.0	17.5	464	724	3.6
富士見第2集会所	160	34	4,560	21.2	28.5	898	1,160	7.3
廻田集会所	186	20	3,997	23.9	21.5	136	384	2.1
平均	286	19	8,271	38.6	34.6	551	5,208	16.8

(参考) 前回検討協議会での分析



<現状のまま建物を継続使用できるか?>



【継続利用】

他の施設に比べ、建物の安全性が確保されており、利用率も高いため、長期保全対象となる。

【老朽化対策・移転】

利用率は高いが老朽化が懸念されるため、近隣他施設への移転も含め、老朽化対策を要検討。

【複合化・規模縮小】

建物の老朽化が懸念され、面積に対する利用率も低い。近隣他施設への移転が困難な場合は、大規模修繕や建替えに合わせ複合化や規模縮小の検討することが求められる。

【多機能化】

他の施設に比べ、建物の安全性が確保されているが、利用率が低いため、多機能化し複合施設としての受け入れの余地がある（条件が合えば、社会実験等による短期計画のモデル事業となり得る）。
なお、建物は長期保全対象。

中分類	施設専有面積 (m ²)	老朽化		利用			コスト			
		平均経過年数 (年)	3か年平均利用数 (件)	3か年平均稼働率 (%)	面積1㎡当たり利用数 (件/㎡)	施設使用料 (千円)	維持管理費 (千円)	面積1㎡当たり維持管理費 (千円/㎡)	支出 (千円)	
恩多ふれあいセンター	555	13	2,763	49.7	5.0	0	0	0.0	8,474	
栄町ふれあいセンター	157	12	1,869	67.8	11.9	0	158	1.0	8,008	
久米川ふれあいセンター	398	11	1,650	45.0	4.1	0	2,664	6.7	10,356	
秋水園ふれあいセンター	493	11	2,408	44.1	4.9	0	0	0.0	8,757	
青葉地域センター	180	3	610	40.3	3.4	285	1,007	5.6	2,101	
萩山集会所	56	38	425	48.5	7.6	149	179	3.2	468	
富士見集会所	201	38	315	18.0	1.6	264	464	2.3	724	
富士見第2集会所	160	34	366	21.2	2.3	317	924	5.8	1,186	
建田集会所	186	20	418	23.9	2.2	212	152	0.8	400	
多摩湖ふれあいセンター	471	14	1,245	27.1	2.6	0	1,712	3.6	13,364	
平均	286	19	1,207	38.6	4.6	123	726	2.9	5,384	